


イベント	【NORENユーザ会】（大阪開催）「座談会セッション」
日時	2014年10月16日（木）
会場	アシスト 西日本支社 セミナールームC
テーマ1	Webサイト運用全般の課題
	NORENの導入後、運用管理や社内体制などにおける、課題や苦労について教えてください。
テーマ2	テーマ1で挙げた各課題に対する解決手段
	上記に対する解決手段について、グループで話し合います。
発表／議論内容	Aチームは、メンバーの意見を十分に引き出すことをメインに話し合いました。 Webサイトの運用管理において、各社の必須課題としてマルチデバイス対応が最も多く挙がりました。 PC、タブレット、スマホなどの各デバイスに対し、これからの時代どう対応していくのかといった必要性もさることながら、現実的な話としてブラウザの対応問題も悩める課題に挙がりました。当然、開発／検証環境で十分なテストを実施した上で、本番環境で公開しますが、そのテスト範囲なども各社においてまちまちであることが分かりました。 また、公開後におけるコンテンツ管理やリンク切れなどもWebサイトの運用管理における各社共通の課題でした。
	正直、NORENを活用して全社レベルで一括管理すれば効率化も図れると考えられますが、各部署におけるコンテンツの更新頻度や複数のベンダーが関連している状況などから、なかなかそれも難しいのが現状です。 また、ベンダーとしては、バージョンアップとコスト削減が永遠の課題かもしれません。
	コンテンツが沢山あればあるほど、その資産管理が大変ですし、運用コストもばかにはなりません、膨大なコンテンツ管理をCMSでいかに効率化を図り、承認フローを使って配信ミス無くすかは重要です。 そのためにも、今度どのようにNORENを十分に活用していくか検討することが大切です。

	課題		解決手段
運用管理全般	<p>1.NOREN関連</p> <p>1)システム</p> <p>a)システム</p> <ul style="list-style-type: none">・バージョンアップのコストが掛かる。・NORENを全体に適用するのがやはり良いのか！？・テンプレート更新 →地道に共通化するか、陣を使うかが問題。 <p>b)マルチデバイス</p> <ul style="list-style-type: none">・レスポンスとスマホ専用 →レスポンスは、データ量が多くなる。・スマホサイトは、配信2回必要という点で課題もある。・マルチデバイス対応のテスト/リレーションについて →Internet Explorer 6、10/FireFox/GoogleChrome、Safari・検証をする場合、ブラウザは何を対応するのが一般的か？ →Internet Explorer 6や、Windows XPのサポート終了などがある。・Webの世界は変化が早いので、どのように対応するかが課題。 →業界で基準を作る。コンテンツ内容、アクセス元で決めるのが現実的。 <p>2)ルール</p> <p>a)承認フロー</p> <ul style="list-style-type: none">・承認フローのルール定着が難しい。・関係者が多いと、NORENのユーザ数に影響する。・承認フローを使うのは、実際のところプレスリリースくらい。・コンテンツを緊急に公開する場合、電話で承認をお願いするケースもある。・Webだけシステム化するのがCMS。Web以外のドキュメントの責任の明確化も課題。 <p>b)Webガバナンス</p> <ul style="list-style-type: none">・リンク切れチェックや更新がないページのチェックができてない。・膨大なページにガバナンスを効かせて管理するのは難しい。・古いページを見つける機能があれば良い。 <p>c)Webコンサルティング</p> <ul style="list-style-type: none">・サイトが最適な状態か？ページの改廃は十分か？など、PDCAを回すのは何気到大変。・複数の部署で管理していると、コンテンツ間のリンクチェックは自力になる。 →メンバーの調整やコントロールが重要である。 <p>d)教育</p> <ul style="list-style-type: none">・教育の機会 →導入教育はあるが、フォロー教育がないのは問題。 →フォロー教育用のメニューを現在検討中。・テンプレートの上手な作り方のアドバイスは、NORENパートナーの方が得意。 <p>2.NOREN以外</p> <p>1)システム</p> <ul style="list-style-type: none">・アクセス解析 →ログ型のサービスが終わってきている。		<p>1.NOREN関連</p> <p>1)システム</p> <p>a)システム</p> <ul style="list-style-type: none">・バージョンアップのコスト：どこまで検証を実施するかがポイントになる。 <p><NORENの適用範囲></p> <ul style="list-style-type: none">・更新頻度が多いところに適用するのが標準的。・その他については、何を目的とするのか？ →承認や配信を管理したい場合、Deploy Serverを利用する選択肢もある。 また、陣を利用することによって、テンプレートのパターンが減らせる。 ※統一のテンプレートで、運用可能な範囲が増えることもメリットとなる。 <p>b)マルチデバイス：</p> <ul style="list-style-type: none">・NOREN6用の陣が、PCとスマホの2サイトに対応可能となったため、今まで以上に運用がしやすくなる。 <ul style="list-style-type: none">・ブラウザの検証は、Webサイトによって利用ブラウザが大きく異なるため、アクセスログを元に検討する対象を決定するのが良い。 <p>2)ルール</p> <p>a)承認フロー</p> <ul style="list-style-type: none">・今後は関係者で意識して、ユーザの利用事例を拾い上げていく。 <p>b)Webガバナンス</p> <ul style="list-style-type: none">・NORENは静的で他ツールと相性も良いため、古いページなどチェックする他ツールとの連携も考慮する。 <p>c)Webコンサルティング</p> <ul style="list-style-type: none">・コンサルティング担当者をNOREN社内で育成していく。 <p>d)教育</p> <ul style="list-style-type: none">・株式会社のれんやNOREN/パートナーから、基本教育だけではなく、更に深掘りしたNORENの利用方法の教育やコンサルティングをリクエストする。

イベント	【NORENユーザ会】（大阪開催）「座談会セッション」
日時	2014年10月16日（木）
会場	アシスト 西日本支社 セミナールームC

テーマ1	Webサイト運用全般の課題
	NORENの導入後、運用管理や社内体制などにおける、課題や苦労について教えてください。

テーマ2	テーマ1で挙げた各課題に対する解決手段
	上記に対する解決手段について、グループで話し合います。

発表／議論内容	<p>Bチームは、Webサイトの運用管理を少人数で対応している方やシステム部門ではない方なども見られました。</p> <p>ホワイトボードを使って、縦軸に「NOREN」と「NOREN以外」、横軸に「システム」と「ルール」と4つの領域を設けたマトリックスに沿って話し合いました。</p> <p>NORENのスキルを学習するまでのステップもさることながら、「そもそもCMSが分からない」「マニュアルを作っても、読んでもらえない」などNOREN以外の対応の大切さも痛感しました。例えば、一般的に、ディレクトリ構造の話を他の方々に話しても伝わりにくいで、ページごとに紙で印刷して説明する工夫や必要性なども挙がりました。</p>
	<p>また、メンバーの中に承認フローをしっかりとやられているところもありました。しかし、承認者が休んでいる場合などの運用が大変で、工夫が必要です。</p> <p>Webの公開における承認フローがしっかりとっている反面、ハンコで承認を進める他の文書管理と比べて、当然といえば当然ですが、システム運用の負荷が高くなるという見方は新しい発見でした。いずれにしても、承認フローは重要ですので、iPadなどどこでも対応できるような工夫が今後は必要です。</p>
	<p>最後に、ルールについてですが、守れるルールと（自発的に）守りたくなるルールを作ることが大切であるとの結論になりました。</p> <p>部署ごとに作りたいページやコンテンツなど、リクエストや温度差は様々ですから、それをフォーマットの統一などCMSで解決することが重要です。</p> <p>例えば、部署によっては「コンテンツの更新を頻繁に行いたい」「ある一点の内容にだけ特化したい」「更新するページにマーケット機能を持たせたい」など、コーポレートサイトもページによっての要望が様々です。そのため、全社ガチガチのルールで縛るのではなく、部署ごとのルールを柔軟にCMSで対応し、コンテンツ管理すべきであるという結論になりました。</p>

	課題		解決手段
運用管理全般	<p>1.NOREN関連</p> <p>1)システム</p> <p>a)システム</p> <ul style="list-style-type: none">・CMSの構成が分かりにくい。・コンテンツ管理担当者が分からないページがある。・調整／修正／改修の違いが分かってもらいにくい。・コンテンツ上書き／更新の場合、公開日が指定できない。 <p>b)スキル</p> <ul style="list-style-type: none">・コンテンツ作成の頻度が少ないため、スキルが上がらない。マニュアルを無くす。配信カテゴリーを間違う。・テンプレートの作成（社内でも修正できるよう進めていきたい）・HTML／CSSの理解がないと触れないページが多い。・NORENの構成改善の予算が取りにくい（わかる人が少ない）予算が計画しにくい。 <p>2)ルール</p> <ul style="list-style-type: none">・承認フローが上手く回らない。承認部署との調整が難しい。情報が集まらない。・制作会社が多く、CMSの運用に果せていくのに時間と労力が掛かる。責任者を明確にすべきである。 <p>2.NOREN以外</p> <p>1)システム</p> <p>a)システム</p> <ul style="list-style-type: none">・グローバルサイトの構築と運営体制。Webサイトを積極的に利用しようとする人が少ない。・ソーシャルメディアについて：誰が？何を？業務の属人化が著しい。・長く更新されていないページがある（最新の情報であるのか分からない）・コンテンツのレベルがまちまち。コンテンツが出てこない。・作業者が少ない。全体的に人が少ない。 <p>b)スキル</p> <ul style="list-style-type: none">・Web関連の知識不足。教育を受けていない。 <p>2)ルール</p> <ul style="list-style-type: none">・守れるルール&守りたいルール → インセンティブの導入？・ガチガチなルール → 余裕なルール・マーケティング機能の追加		<p>1.NOREN関連</p> <p>1)システム</p> <p>a)システム</p> <ul style="list-style-type: none">・更新のタイミング調整や管理など主官部門を設け、ルールやガイドラインを設定し運用する。 <p>b)スキル</p> <ul style="list-style-type: none">・マニュアルを基に、わかりやすい簡易手順書などを作って、操作などを覚えてもらうまで学習の機会を繰り返す。・内製化できるようHTML／CSSを理解し、テンプレートを作成する。 <p>2)ルール</p> <ul style="list-style-type: none">・承認フローも含め、社内ルールを十分に関係者で検討した後、周知徹底／運営管理を根気よく続ける。 <p>3)その他</p> <ul style="list-style-type: none">・NORENの導入メリットをできるだけ数値化し、運用管理で必要な予算を計画する。→人員増員の検討なども考慮し、属人化を防ぐ。 <p>2.NOREN以外</p> <p>1)システム</p> <p>a)システム</p> <ul style="list-style-type: none">・経営層に対するWebサイトの重要性やグローバルサイトの必要性、SNS（必要に応じて）などについてアピールして働きかける。（※Webサイトランキングなども利用する）・何が最新情報であるのかページを検討し、長く更新されていないページは担当者がチェックする体制で回す。・NORENは組み込みやすいCMSであるため、他ツールとの連携を検討し導入する。 <p>b)スキル</p> <ul style="list-style-type: none">・Web関連の学習機会を設け、各担当者における必要な知識やスキルの底上げなどの教育を行う。→それに伴い、コンテンツレベルは向上する。前提として、成果物など社内でコンテンツの目標と目的は明確にしておく。 <p>2)ルール</p> <ul style="list-style-type: none">・守れるルール／守りたいルール／各部署に合わせたルールが必要。

イベント	【NORENユーザ会】（大阪開催）「座談会セッション」
日時	2014年10月16日（木）
会場	アシスト 西日本支社 セミナールームC

テーマ1	Webサイト運用全般の課題
	NORENの導入後、運用管理や社内体制などにおける、課題や苦労について教えてください。

テーマ2	テーマ1で挙げた各課題に対する解決手段
	上記に対する解決手段について、グループで話し合います。

発表／議論内容	Cチームのメンバー構成は、NORENに直接関わっている担当者と、Webサイト全般における企画担当者などと半々でした。
	<p>今回、システム面とその他の課題の2つの側面で話し合いました。</p> <p>まず最初に、Webサイトの運営管理におけるシステム側の課題としては、コンテンツの配信時間の管理やもうすでに古くなったコンテンツの削除といった鮮度における管理などが挙がりました。</p> <p>また、NORENの機能面においては、コンテンツ作成担当者がMicrosoft製品を使った場合、親和性の難しさが課題として挙がりました。</p> <p>続いて、その他NOREN以外の側面としては、Webサイトの運営管理のガイドラインを作成しても、それに沿って実際きちんと対応できているのかといった周知徹底できていない面が挙がりました。このあたりの教育も十分に行う必要があります。加えて、コンテンツ作成など現場担当者からの質問にシステム部門が適切に回答できているかも課題です。FAQの作成のみならず、NORENサポートセンターと連携し、上手に活用する必要があります。</p> <p>NORENは優れた製品ですので、製品やツールとしての対応とそれ以外の運用を組み合わせることによって、Webサイトの運営管理における最大化を図ることが必要というのが全体としての認識でした。</p> <p>最後に補足ですが、NOREN6にバージョンアップする点についても話し合いました。メンバーの共通認識としては、Internet Exploereなどブラウザの対応バージョンなど十分注意した上で検討すべきであるという見解になりました。</p>

